壮警町告示第36号

平成30年壮警町議会第3回臨時会を、次のとおり招集する。

平成30年5月1日

壮警町長 佐藤 秀敏

記

1 期 日 平成30年5月9日

2 場 所 壮警町役場 大会議室

3 付議事件

- (1) 専決処分の承認を求めることについて
- (2) 専決処分の承認を求めることについて
- (3) 専決処分の承認を求めることについて
- (4) 専決処分の承認を求めることについて
- (5) 専決処分の承認を求めることについて
- (6) 土地の取得について
- (7) 動産の取得について
- (8) 和解及び損害賠償額の決定について
- (9) 平成30年度壮警町一般会計補正予算(第1号)について

○応招議員（8名）

1番 佐藤 恣 君

3番 毛利 爾 君

5番 真鍋 盛 男 君

8番 長内 伸 一 君

2番 菊地 敏 法 君

4番 森 太 郎 君

6番 加藤 正 志 君

9番 松本 勉 君

○不応招議員（0名）

平成30年壮瞥町議会第3回臨時会会議録

○議事日程（第1号）

平成30年5月9日（水曜日） 午前10時00分開会

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定について

日程第 3 諸般の報告

日程第 4 議案第26号ないし議案第34号について

○出席議員（8名）

1番	佐藤	恣	君	2番	菊地	敏	法	君
3番	毛利	爾	君	4番	森	太	郎	君
5番	真鍋	盛	男	君	6番	加藤	正	志
8番	長内	伸	一	君	9番	松本		勉

○欠席議員（0名）

○地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した人

町	長	佐藤	秀	敏	君
副町	長	杉村	治	男	君
教育	長	田鍋	敏	也	君
会計	管理者				
		小松	正	明	君
税務	会計課長				
総務	課長（兼）	作田	宏	明	君
総務	課参事	上名	正	樹	君
住民	福祉課長	庵		匡	君
住民	福祉課参事	阿部	正	一	君
経済	建設課長	工藤	正	彦	君
経済	建設課				
		齊藤	英	俊	君
参事	（兼）				
生涯	学習課長	齋藤	誠	士	君
選管	書記長（兼）	作田	宏	明	君
農委	事務局長（兼）	齊藤	英	俊	君
監委	事務局長（兼）	小林	一	也	君

○職務のため出席した事務局職員

事務局	長（兼）	小林	一	也	君
-----	------	----	---	---	---

◎開会の宣告

○議長（松本 勉君） ただいまから平成 30 年壮瞥町議会第 3 回臨時会を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長（松本 勉君） 直ちに本日の会議を開きます。
（午前 10 時 00 分）

◎議事日程の報告

○議長（松本 勉君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（松本 勉君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。
本日の会議録署名議員は、会議規則第 116 条の規定により、議長において
8 番 長内伸一君 1 番 佐藤 恣君
を指名いたします。

◎会期の決定について

○議長（松本 勉君） 日程第 2、会期の決定についてを議題といたします。
お諮りいたします。今期臨時会の会期は、本日 1 日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。
〔「異議なし」と言う人あり〕
○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。
よって、会期は本日 1 日間と決しました。

◎諸般の報告

○議長（松本 勉君） 日程第 3、諸般の報告を行います。
去る 4 月 16 日付で願いのあった高井一英議員の議員の辞職について、閉会中のため、地方自治法第 108 条の規定により、議長において同日許可しましたので、ご報告いたします。
以上で諸般の報告を終わります。

◎議案第 26 号ないし議案第 34 号

○議長（松本 勉君） 日程第 4、議案第 26 号ないし議案第 34 号についてを議題といたします。

理事者から提案理由の説明を求めます。

副町長。

○副町長（杉村治男君） 本日の臨時会に提出いたします議件は、議案第 26 号から議案第 34 号までの 9 件であります。その内容についてご説明申し上げます。

議案第 26 号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第 3 項によりこれを報告し、承認を求めます。

専決処分書。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、次のとおり専決処分する。

平成 29 年度壮警町一般会計補正予算（第 17 号）。

平成 29 年度壮警町一般会計補正予算（第 17 号）は、次に定めるところによる。

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額 40 億 4,903 万 8,000 円から歳入歳出それぞれ 9,705 万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 39 億 5,198 万 8,000 円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

第 2 条 地方債の変更は、「第 2 表 地方債補正」による。

専決処分は、平成 30 年 3 月 30 日となります。

10 ページの事項別明細書、歳出から説明をいたします。総務費、財政費、地域振興基金費で 700 万円の追加となり、匿名による 300 万円の指定寄附とそうべつ観光協会から 400 万円の指定寄附となります。

ふるさと応援基金費で 3,024 万 4,000 円の追加となり、2,292 件のふるさと納税があったことによる基金への積み立て整理となります。

民生費、社会福祉費、社会福祉総務費で 1,548 万 7,000 円の減額となり、国民健康保険特別会計繰出金と介護保険特別会計繰出金の整理となりますが、財源内訳では長寿・健康増進事業特別対策補助金の増額による整理となります。

衛生費、保健衛生費、予防費では、財源区分の変更となり、脳ドック検診事業に係る補助金増額に伴う整理となります。

農林水産業費、農業費、農林漁業振興基金費で 141 万 5,000 円の追加となり、立ち木売り払い代の増額に伴う整理となります。

11 ページ、土木費、道路橋梁費、道路橋梁維持費では、財源区分の変更となります。道路橋梁維持経費と除雪経費について実績により社会資本整備総合交付金の減額に伴う整理となります。

道路新設改良費で 1 億 1,729 万 6,000 円の減額となります。委託料については執行残の整理を、工事請負費のうち橋梁については工種区分の明確化に伴う諸経費率の上昇により不足分の計上を行うもの、町道については用地交渉の難航により工事に着手できなかった

ことによる整理を行うこと、財産購入費と補償補填及び賠償金については交付金減額に伴う整理となります。

公債費、利子で 292 万 6,000 円の減額となり、実績による整理となります。

8 ページの歳入では、町税、町民税、個人で 178 万 3,000 円の減額、法人で 782 万 6,000 円の追加となり、実績による整理となります。

固定資産税で 350 万円の追加となり、実績による整理となります。

説明書の中に、済みません、軽自動車税という表記があるかと思いますが、その部分については削除していただきたいと思えます。

町たばこ税で 231 万 3,000 円の減額となり、実績による整理となります。

入湯税で 226 万 1,000 円の減額となり、こちらも実績による整理となります。

地方消費税交付金で 787 万円の追加となり、実績による整理となります。

自動車取得税交付金で 415 万 6,000 円の追加となり、実績による整理となります。

地方交付税で 3,104 万 4,000 円の減額となり、特別交付税分について実績による整理となります。交付額は 1 億 9,895 万 6,000 円であります。

9 ページ、国庫支出金、国庫補助金、土木費補助金で 7,794 万 2,000 円の減額となり、町道中島 1 号線の整備事業の交付金整理となります。

財産収入、財産売払収入、不動産売払収入で 141 万 5,000 円の追加となり、立ち木売り払い代の実績による整理となります。

寄附金、一般寄附金で 824 万 4,000 円の追加となり、ふるさと応援寄附金の整理と地域振興に係る 2 件の指定寄附金の整理となります。

繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金で 2,482 万 9,000 円の追加となり、予算執行の整理となります。

諸収入、雑入で 135 万 3,000 円の追加となり、実績による整理となります。

町債、土木債で 4,090 万円の減額となり、実績による整理となります。

第 1 表の歳入歳出予算補正につきましては、説明した再掲ですので、省略をいたします。

5 ページ、第 2 表、地方債補正は変更で、橋梁長寿命化整備事業、限度額 710 万円を限度額 670 万円に、町道滝之町中島 1 号線道路整備事業、限度額 4,560 万円を限度額 510 万円とするものであります。

議案第 27 号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第 3 項の規定によりこれを報告し、承認を求めます。

専決処分書。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、次のとおり専決処分する。

平成 29 年度壮瞥町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）。

平成 29 年度壮瞥町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによ

る。

第1条 歳入予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入予算の金額は「第1表 歳入予算補正」による。

専決処分は、平成30年3月30日であります。

18ページの事項別明細書、歳出から説明をします。保険給付費、療養諸費、一般被保険者療養給付費では財源区分の変更で、一般財源を2,522万円減額し、特定財源を国庫支出金で856万7,000円追加、その他の共同事業交付金で1,665万3,000円追加するもので、実績による整理であります。

17ページの歳入では、国庫支出金、国庫負担金、療養給付費等負担金で856万7,000円の追加となります。共同事業交付金、保険財政共同安定化事業交付金で1,665万3,000円の追加となります。

繰入金、他会計繰入金、一般会計繰入金で1,422万円の減額となります。

基金繰入金で1,100万円の減額となります。いずれも実績による整理であります。

第1表の歳入予算補正につきましては、説明した内容の再掲ですので、省略をいたします。

議案第28号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めます。

専決処分書。

地方自治法第179条第1項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、次のとおり専決処分する。

平成29年度壮瞥町介護保険特別会計補正予算（第3号）。

平成29年度壮瞥町介護保険特別会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

第1条 既定の歳入歳出予算の総額3億6,371万3,000円から歳入歳出それぞれ126万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億6,244万6,000円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」による。

専決処分は、平成30年3月30日であります。

こちらの事項別明細書の24ページ、歳出から説明をします。保険給付費、介護サービス等諸費で126万7,000円の減額となり、実績による整理となります。

歳入では、繰入金、一般会計繰入金、介護給付費繰入金で126万7,000円の減額となり、実績による整理となります。

第1表の歳入歳出予算補正につきましては、説明した内容の再掲ですので、省略をいたします。

議案第29号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3

項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

専決処分書。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、壮警町税条例の一部を改正する条例について別紙のとおり専決処分する。

専決処分は、平成 30 年 3 月 31 日であります。

壮警町税条例の一部を改正する条例であります。

こちらは、地方税法等の一部を改正する法律等が平成 30 年 3 月 31 日に公布されたことに伴い、壮警町税条例について改正が必要となったため、同日付で専決処分したものであります。

法律改正に伴う改正となりますが、町民税と固定資産税等に係る改正となります。主なものでご説明をいたします。

全体的には、法改正に伴う所要の規定の整備や字句の整理を行うこと。法人町民税について租税特別措置法の適用を受ける場合に控除できる額についての規定を整備すること。また、延滞金について算定期間の読みかえ規定を整備すること。固定資産税では、3 年に 1 回の評価がえに係る負担調整措置の仕組みを 3 年間延長すること。新築住宅に係る減額措置を 2 年間延長すること。施行令改正により改修実演芸術公演施設に係る減税の申告規定を整備することなどであります。

附則として、施行期日を平成 30 年 4 月 1 日としておりますが、町民税、固定資産税についてそれぞれ経過措置の規定を設けているものであります。

新旧対照表を別につけておりますので、こちらは後ほどごらんいただきたいと思います。
議案第 30 号 専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第 3 項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

専決処分書。

地方自治法第 179 条第 1 項の規定により、議会の議決すべき事件について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので、壮警町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について別紙のとおり専決処分する。

専決処分は、平成 30 年 3 月 31 日であります。

壮警町国民健康保険税条例の一部を改正する条例でございますが、こちらも 地方税法等の一部を改正する法律が平成 30 年 3 月 31 日に公布されたことに伴い、壮警町国民健康保険税条例について改正が必要となったため、同日付で専決処分したものであります。

改正内容は、国民健康保険の都道府県単位化により国民健康保険税の運営方法が変更されることに伴い、第 2 条に係る部分について課税額の規定を改めること。減額措置に係る軽減判定所得について、5 割軽減対象世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乘すべき金額を 27 万 5,000 円に引き上げること。また、2 割軽減対象世帯の軽減判定所得

の算定において被保険者の数に乗すべき金額を 50 万円に引き上げること。マイナンバー制度情報連携に伴い情報把握ができる場合には証明書類の提示が不要とする規定とすることなどであります。

附則として、施行期日を平成 30 年 4 月 1 日としており、適用区分条項を設けているものであります。

新旧対照表を別に添付しておりますので、後ほどごらんいただきたいと思います。

議案第 31 号 土地の取得について。

建部B団地の敷地として、下記の土地を取得するため、地方自治法第 96 条第 1 項第 8 号の規定によって、議会の議決を求める。

所在地及び面積等について、壮警町字滝之町 229 番地 39、地目は宅地、面積は 6,819.35 平方メートル。取得予定価格は 1,670 万 7,408 円。契約の相手方は、有珠郡壮警町字滝之町 229 番地 65、田淵一夫氏であります。

単価につきましては、平方メートル当たり 2,450 円としております。

こちらは、昭和 54 年 5 月 1 日から賃貸借契約を締結し借用しておりました敷地について、当時の賃貸借契約締結時に別に覚書を作成しており、この賃貸借契約期間中といえども甲が土地の買い上げを申し出た場合は乙は申し出を受けること、売買価格諸条件が甲、乙合意に達することを条件とし、近傍売買事例を参考にして決定するとした内容になっておりました。平成 28 年 12 月に田淵氏から申し出があり、このたび協議が調ったことで提案しているものであります。

議案第 32 号 動産の取得について。

下記のとおり動産を取得するため、地方自治法第 96 条第 1 項第 8 号の規定によって、議会の議決を求める。

名称、種類、数量につきましては、附属品一式を含むじんかい収集車 1 台であります。取得金額は 1,231 万 2,000 円。契約の相手方は、伊達市松ヶ枝町 30 番地 10、株式会社ナガワ伊達営業所所長、岩佐貴之氏となります。

こちらは、平成 12 年に導入された車両の更新に係るものであります。現車両は、3 月末時点の走行距離が 35 万 3,752 キロとなっており、老朽化が進んでおります。このため、5 月 1 日に入札を行い、指名業者 6 社、うち 1 社辞退の中で決定をさせていただきます。

議案第 33 号 和解及び損害賠償額の決定について。

蟠溪温泉設備事故に係る和解及び損害賠償額の決定について、地方自治法第 96 条第 1 項第 12 号及び第 13 号の規定に基づき、議会の議決を求める。

損害賠償の相手方、苫小牧市三光町 2 丁目 8 番 1 号、株式会社門田組代表取締役社長、中田博子氏。損害賠償の額 1,132 万 403 円。和解の概要ですが、平成 30 年 2 月 11 日、蟠溪地区において町が設置、管理する温泉管内の急激な水圧の上昇により、給湯していた相手方所有の別荘内の配管設備を破壊したことで、当該建物の内部を水浸しにし、家財道具一式にも損害を与えた。よって、相手方に対し、町として損害を賠償し、及び和解するも

のであります。

なお、損害賠償の額は、当該建物内部及び家財道具の原状復旧に要する経費とし、全額保険金をもって支払うものとしてございます。

今回の事故を教訓といたしまして、現在給湯箇所数が減少していることを踏まえながら、温泉供給のあり方を含めて対応策を検討する必要があるだろうということで考えておりました。対応策がまとまった時点で別に議会とも協議を進めたいと思っております。

議案第 34 号 平成 30 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 1 号）について。

平成 30 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 1 号）は、次に定めるところによる。

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額 38 億 5,700 万円に歳入歳出それぞれ 542 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 38 億 6,242 万円とする。

歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

最終ページ、43 ページになります。事項別明細書、歳出から説明をします。総務費、総務管理費、財産管理費で 500 万円の追加となります。公共施設管理事業について、森と木の里センターと仲洞爺野営場に係る修繕経費の計上となります。いずれも担当課から当初予算のときに要望があったものでありますが、査定の中で財源確保が難しい状況の中、先送りした部分でございます。3 月にそうべつ観光協会と匿名による指定寄付金 700 万円を受けたことから、地域振興基金から財源を充当して対応したいというふうに考えてございます。

農林水産業費、林業費、林業振興費で 42 万円の追加となります。有害鳥獣電気柵購入に係る補助金となります。当初予算で 4 名分を予定しておりましたが、4 月現在 6 名からの申請があり、またさらに相談が 2 件あることを踏まえて不足分を計上するものであります。

歳入では、繰入金、基金繰入金、地域振興基金繰入金で 500 万円の追加となります。

財政調整基金繰入金で 42 万円の追加となります。

第 1 表の歳入歳出予算補正につきましては、説明した内容の再掲でありますので、省略をいたします。

以上が今臨時会に提案いたします議案の内容であります。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

以上で説明を終わります。

○議長（松本 勉君） これにて提案理由の説明を終結いたします。

日程第 4 のうち、議案第 26 号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。最初に、事項別明細書、歳出全体について受けます。一般 3 ページから一般 4 ページまで。ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 次に、歳入全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 次に、第1表、歳入歳出予算補正及び第2表、地方債補正について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 次に、条文及び補正予算全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） これにて質疑を終結いたします。

これより議案第26号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第26号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第4のうち、議案第27号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

これより議案第27号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第27号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第4のうち、議案第28号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

これより議案第28号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第28号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認する

ことに決定いたしました。

日程第4のうち、議案第29号 専決処分承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。

1番、佐藤恣君。

○1番（佐藤 恣君） この29号の条例の改正については異議はありませんけれども、提案説明の中に施行令の改正によって改修実演芸術公演施設に係る減税の申告規定とかと初めて聞くような言葉が入っております。これは具体的にどのような内容か、簡単でよろしいのですけれども、説明願えればと思いますけれども。

○議長（松本 勉君） 答弁。

暫時休憩といたします。

休憩 午前10時30分

再開 午前10時33分

○議長（松本 勉君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁、税務会計課長。

○税務会計課長・会計管理者（小松正明君） ご答弁申し上げます。

先ほどのご質問でございますが、バリアフリー改修が行われた劇場や音楽堂に係るもの、あるいは公共の施設等によって税額の減税を措置したというものでございます。

以上です。

○議長（松本 勉君） 1番、佐藤恣君。

○1番（佐藤 恣君） これは、説明資料渡された中に書いてあるのですけれども、やはり臨時議会の場合、こういう条例改正だとか、またいろんな提案事項がその場で、その日の会議の直前に渡される状況なのです。それでは何もわからないままでいい、なしで通ることは私はやはりいけないのではないかと。内容をきちんと確認するためには議員各位はやはりこの資料だとか議案などを事前に配付されて、それを見て私は審議に臨むのが正しいのではないかと思います。そのようなことについては今後議会運営委員会等で十分審議していただいて、議案の配付方法、これについて考えていただきたいなど、そういうことから、今質問したのですけれども、そういうことは議会運営委員会の中で今後取り上げていただきたいということ要望して、終わりたいと思います。

○議長（松本 勉君） 何かありますか。

暫時休憩といたします。

休憩 午前10時36分

再開 午前10時36分

○議長（松本 勉君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁、副町長。

○副町長（杉村治男君） ご指摘いただいた部分については、こういった法改正が3月31日というのが大体多いという状況であります。行政サイド、我々としても法改正にあつて条例改正が事務処理上は結構大変な部分もあるということから、臨時会に合わせて調整をさせていただいているというのが現状です。議案提出については、臨時会については告示をした中で調整可能であれば提出は可能だというふうには思いますが、場合によってはなかなか厳しいかなという事情もありますので、そこは議会の運営委員会などと協議させていただきながら進めていければと思います。

○議長（松本 勉君） ほかに質疑ございませんか。ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

これより議案第29号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よつて、議案第29号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第4のうち、議案第30号 専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

質疑を受けます。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

これより議案第30号を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よつて、議案第30号 専決処分の承認を求めることについては原案のとおり承認することに決定いたしました。

日程第4のうち、議案第31号 土地の取得についてを議題といたします。

質疑を受けます。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 31 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 31 号 土地の取得については原案のとおり可決されました。

日程第 4 のうち、議案第 32 号 動産の取得についてを議題といたします。

質疑を受けます。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 32 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 32 号 動産の取得については原案のとおり可決されました。

日程第 4 のうち、議案第 33 号 和解及び損害賠償額の決定についてを議題といたします。

質疑を受けます。ございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 33 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 33 号 和解及び損害賠償額の決定については原案のとおり可決されました。

日程第 4 のうち、議案第 34 号 平成 30 年度壮瞥町一般会計補正予算（第 1 号）についてを議題といたします。

質疑を受けます。全体について。

1 番、佐藤 恣君。

○ 1 番（佐藤 恣君） 今回補正として 500 万円が補正される。その原資となったのは観光協会からの 400 万円だとか匿名による寄附金 300 万でしたか、それを原資にしているのですけれども、観光協会から、私単純に考えると観光協会は補助金を受けている団体と認識していたものですから、そういう団体から 400 万円寄附金があった経緯ともう一つ、当初予算では担当課から出ていたものは取り組めなかった。それを今回のこの寄附金等を活用して 500 万円で修繕等を行うとあるのですけれども、具体的に森と木の里センターと、また仲洞爺野営場に係る修繕内容、どのような内容のもの考えているのか伺いたいと思います。

○議長（松本 勉君） 答弁、総務課長。

○総務課長（作田宏明君） ご答弁申し上げます。

議員おっしゃられるとおり、観光協会のほうは補助金を受けてという形になってございます。そして、平成 29 年度から指定管理者となっているという形で認識しているところなのですが、観光協会にもその辺お話を聞いたところ、今回指定管理の部分について、うちからの指定管理委託料含めて運営したわけですけれども、いろいろと指定管理している施設の維持管理等をボランティア等で行ってもらったということもあって、余剰金というか、あったと。その部分については、あくまでも指定管理の委託料をもらっている以上、余剰金をプールするという話ではないので、その分で寄附させていただいたという形です。実際上は入っている人数等はほぼほぼ前年度と同じぐらい、若干減少しているところではございますが、そういう維持管理費的なメンテの部分でボランティア活動等で行っていただいたところが大きな要因ではないかというふうにお聞きしてございます。

それと、森と木の里センターと仲洞爺センターハウスの修繕内容でございますが、森と木の里センターにつきましては階段の一部まだ補修が残っておりました。階段と手すりです。その関係の部分で対応したいという形と周辺環境整備についてを実施したいというふうに考えてございます。仲洞爺のセンターハウスにつきましては、駐車場のスペースを一応もう少し確保してほしいという形のものから、その部分の整備費用と、あとはテントサイトの部分で若干整備費用として計上してほしいという形で要望ありましたので、その部分の対応に充てたいというふうに考えてございます。

以上です。

○議長（松本 勉君） ほかにございませんか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） 討論なしと認めます。

これにて討論を終結いたします。

これより議案第 34 号を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（松本 勉君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第 34 号 平成 30 年度壮警町一般会計補正予算（第 1 号）については原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（松本 勉君） これにて本議会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

よって、平成 30 年壮警町議会第 3 回臨時会を閉会いたします。

（午前 10 時 45 分）

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員